

かつて食道 sm 癌は幻の癌と言われ、食道癌の大部分は進行癌であった。しかし先人たちの努力の結果、現在では sm 癌のみならず微小 m 癌までもが発見可能となった。食道 m_{1,2} 癌には転移がまずないので、この時点で発見すると内視鏡的切除術で根治が可能である。一方、m₃, sm₁ 癌にはリンパ節転移の危険がある。さらに深く sm_{2,3} 癌になるとリンパ節転移は 50% 前後にまで上昇する。いかに発見し、どう治療すべきか？ 本号はこれらの問題を解決するために企画された。

まずは診断である。通常内視鏡、X 線のみな

らず拡大内視鏡、EUS や PET を用いた進行度診断を解説した。“達人が最新鋭の装置を用いるとここまで診断できる”という現時点での到達点が明らかにされた。治療面においては手術のみならず、放射線・化学療法の長期成績が明らかにされた。また、sentinel node 検索の現状、EMR・ESD+ α 療法の成績、残された課題も提示された。本号では現時点での食道 m₃, sm 癌に対する最新の診断、治療法を網羅した。諸兄の診療にお役立ていただければ幸いである。

胃と腸

10月号 (第41巻・第11号) 予告

発売予定 10月25日
定価 2,625円

主題／早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点

序説	早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点	社会保険中央総合病院・内科	浜田 勉
主 題	早期胃癌に対する ESD の治療成績		
	—適応拡大の可能性—	国立がんセンター中央病院・内視鏡部	小田 一郎・他
	早期胃癌の適応拡大の可能性	佐久総合病院・胃腸科	高橋重紀子・他
	早期胃癌に対する機能温存手術	埼玉医科大学・消化器・一般外科	大谷 吉秀・他
	早期胃癌に対する腹腔鏡下手術	昭和大学横浜市北部病院・消化器センター	井上 晴洋・他
	早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点—私はこう考える		
	—外科の立場から—	大分大学医学部・第1外科	安田 一弘・他
		藤田保健衛生大学医学部・上部消化管外科	宇山 一郎・他
		国立がんセンター中央病院・胃外科	片井 均・他
		杏林大学医学部・外科	阿部 展次・他
	—内科の立場から—	岸和田徳洲会病院・消化器内科	豊永 高史・他
		静岡県立静岡がんセンター・内視鏡部	小野 裕之・他
		埼玉県立がんセンター・消化器内科	多田 正弘・他
		広島大学病院・光医学医療部	田中 信治・他
	—病理の立場から—	慶應義塾大学医学部・病理診断部	向井 万起男
		九州大学大学院医学研究院・形態機能病理学	八尾 隆史・他
座談会	早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点	埼玉医科大学・消化器・一般外科	大谷 吉秀・他

胃と腸 (第41巻 第10号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail : itc @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2006年9月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,625円(本体2,500円+税5%)

2006年年ぎめ予約購読料 36,410円

(増刊号 5,985円を含む 13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびイーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2006, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・JICIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 今田・山中・天野・小松原